

芸術（書道Ⅰ）

履 修 単 位	2 単位	学 年	1 年
学 科 コ ー ス	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使 用 教 科 書	光村図書「書Ⅰ」		
副 教 材 等			

1．科目を通した学習内容と学習目標

芸術科書道では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野を学ぶ。「臨書」や「鑑賞」，「創作」の学習を通じて，さまざまな古典，名筆の美や技法にふれ，自己の表現に生かしていくことを目指す。

2．授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・「筆跡なるものは界なり，美を流すものは人なり」中国後漢末期から三国時代の魏の政治家で，書家でもあった鐘繇のことばです。人の書く筆跡は形であり，その美を創るのは人間性であるということを言っています。紀元前1000年の昔から現代へ，人間とともに今もなお変化していく文字の変遷とルーツを味わいながら，自分の書の表現へとつなげていきましょう。
- ・「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野を学んでいくうえで大切なことは，古典の臨書です。古典には時代を超えて受け継がれてきた普遍的な美が備わっています。古典を手本として書く「臨書」は，書に対する感性と技能を高めるうえで不可欠です。3つの分野を臨書で学びながら，書の美を味わい，美がどのような要素で成り立っているのか鑑賞するなかで分析し，「臨書」や「鑑賞」の学習で学んだことを生かし，書の表現に自らの創意工夫を加える「創作」をしていきます。
- ・何事も積極的に粘り強く取り組み，何でも吸収しようとするのがとても大切です。毎時間ごとに自らの目標を立て，作品作りに対してイメージーションを最大限に発揮していきましょう。

3．科目を通した評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・書の表現の方法や形式，書表現の多様性について，書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感じ，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	振り返りシート，レポートや授業中のプリント，授業中の発言，ポイントを押さえた作品作り	作品制作の際の構想や工夫や表現力，レポートや記述における表現力，自己評価・相互評価等のコメント	授業時の際に主体的に取り組む態度等の教師による観察，作品のはじめと終わりの進歩，作品制作に粘り強く取り組む態度等
上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4. 年間を通した学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1	書道で学習すること 書写から書道へ	(1)・書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 ・小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを理解する。 (3)・芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛校する心情を養う。	書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	○			
	漢字の変遷とさまざまな書体	(1)・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。	日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。	○			
		(2)・漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○		
		(3)・漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○	
	漢字の書 【楷書】 あなたは、どの楷書が好き？ 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 鑑賞を始めよう ・牛橛造像記 卷末折込「龍門二十品」 ・鄭義下碑 〔コラム〕「摩崖」の書 ・隅寺心経	(1)・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。	楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	○			
		・楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	○			
		(2)・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○		
		(3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○	
			主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○	
	【行書】 ・蘭亭序 蘭亭序とは 受け継がれてきた蘭亭序 卷末折込「蘭亭序」 〔コラム〕印でわかる古典の真価 ・争坐位文稿 ・蜀素帖 ・風信帖 卷末折込「風信帖」 三筆・三跡の書	(1)・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。	行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。	○			
		・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	○			
		(2)・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○		
		(3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○	
			主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○	

2	【隷書】 ・曹全碑	(1)・隷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	隷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○		
			線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。	○		
			隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。	○		
		(2)・隷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・隷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	隷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。		○	
			隷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○	
		(3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○
			主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○
	創作する 古典を生かした創作 創作例 〔コラム〕 さまざまな書の姿	(1)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。	用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○		
		・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。	○		
		・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。	漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。	○		
		(2)・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。		○	
			漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○	
		(3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○
			主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○
	仮名の書 成立と種類 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 ・蓬萊切 ・高野切第三種 ・関戸本古今和歌集 ・元永本古今和歌集 ・継色紙 ・寸松庵色紙　・升色紙 さまざまな構成方法 古筆を生かした創作 創作例〔コラム〕 美しい料紙の世界	(1)・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。	線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○		
		・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	○		
		(2)・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。	○		
			仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。		○	
		・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○	
		・仮名の古筆や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○
		(3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○
3	漢字仮名交じりの書 漢字仮名交じりの書とは 心に響く言葉を書く	(1)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。	用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○		
		・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解する。	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。	○		
		・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。	目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。	○		

	好きな言葉を書こう あなたは、どの書が好き？ 表現の幅を広げよう 文士の書を見に行こう 〔コラム〕文士の署名 漢字仮名交じり文と日本語表記	(2)・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。		○		
			創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○		
			主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○	
			主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○	
	【篆刻】	(1)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 (2)・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 (3)・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	○			一学期始め に取り組む 予定あり
			線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。	○			
			漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。	○			
			漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。		○		
			漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。		○		
			主体的に篆刻や刻字の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。			○	
			主体的に篆刻や刻字の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			○	